



全大教

全国大学高専教職員組合
Faculty and Staff Union of Japanese Universities

毎月1回10日発行 (1部30円) 組合員の購読料は組合費に含まれています

発行所

第261号 2011年3月10日

全大教のホームページ <http://www.zendaikyo.or.jp>

◆全大教の紹介

◆大学・高等教育に関する情報など

△情報の提供やお問い合わせは全大教情報宣伝部まで

Eメール <josen@zendaikyo.or.jp>

〒110-0015 東京都台東区東上野六丁目1番7号 MSKビル7階

TEL 03(3844)1671/FAX 03(3844)1672

組合員のみなさんにあらためて訴えます すべての職場で組合員加入の 取り組みを強めましょう

昨年・昨年の給与引き下げは単組や全大教の運動がなければ、もつと厳しいものになっていたことでしょう。単組の努力で代償措置を勝ち取ったケースも少なくありませんが、今後はさらに厳しい状況が予想されます。全教職員にもう一度声を

新年度も間近です。大学等では新入生を迎える時期であるとともに、新規採用や異動の教員を迎える時期でもあります。

期待・希望と不安の両方に満ちた若者を中心とする仲間たちに、職場での安心を、そして継続的な人間関係を提供すること、より良い労働条件で働いてもらえるようにすることは、私たち組合の先輩の役割です。あたたかい気持ちをもって、新入を組合に誘いましょう。

全教職員に組合加入を訴えましょう



新たに採用された方々はみな期待と不安をもつてこの春を迎えたはずです。職場

4月の新採教職員に必ず加入呼びかけを

新年度も間近です。大学等では新入生を迎える時期であるとともに、新規採用や異動の教員を迎える時期でもあります。

期待・希望と不安の両方に満ちた若者を中心とする仲間たちに、職場での安心を、そして継続的な人間関係を提供すること、より良い労働条件で働いてもらえるようにすることは、私たち組合の先輩の役割です。あたたかい気持ちをもって、新入を組合に誘いましょう。

必ず組合加入の呼びかけを

一人ひとりに



中央執行委員長
中嶋 哲彦

新規採用者

3面

- ◆わたしもひとりと
単組からのレポート
- ◆神戸大学「交渉力を高めるためにも組合員拡大を」
・福岡教育大学「組合実施のカフェで組合と職場を身近に」
- ◆合同地区別単組代表者会議
- ◆全教病院協議会総会
- ◆文科省病院支援室と会見
- ◆奈良教育大学附属学校園では
『ジャンボはがき』—アピール賛同署名の取り組みの中で



今月の紙面

2面

- ◆わたしの声かけを
職場での仲間づくりは組合から
—組合はあなたを待っています—
- ◆全教職員はもちろん、あらためて全教職員に、自分たちの職場に組合があつて活動していることを知らせることが大切です。大量宣伝を通じて、組合の存在をアピールしましょう。
- ◆新人教職員はもちろん、ターゲットを丁寧に説明し、できるだけ早い時期に組合に入つてもらいましょう。
- ◆新入向けの説明会がもたらされる職場ではその機会を逃さないようにして、できるだけ職務や年齢の近い人が中心になって組合加入を訴えます。そして、できるだけその場で加入を決めてもらいましょう。

4面

- ◆大学人インタビュー
東京農工大学
大学院農学研究院教授 梶 光一氏

→教職員用リーフレット (2011年春版)
職場での仲間づくり、教育・研究の充実と労働条件改善に向けた組合の役割と成果等について

この時期に組合員の拡大に努力しておけば、今後の運動を有利に展開する条件となることがあります。

新規加入者を放置しない

組合に加入してくれた人をほつたらかしにせず、日常的に声を掛け合う関係をつくりましょう。

職場に豊かな人間関係を作り上げることは組合の使命ですし、新規加入者があなた自身をこれまで以上に豊かにしてくれるでしょう。

同時に、法人とはチェックオフ協定を締結し、組合費徴収の負担を軽減するども



↑病院用リーフレット(2011年春版)
国公立大学病院としての安全・安心の看護と看護職員の労働条件改善を実現するために

ポスターだけで組合に入つてくる人はあまりいないでしょう。人の気持ちは人の声でしか動かせません。

あなたの声かけがなければ、組合に入りたいと思っている人もポスターの前で立ち止まってしまいます。

組合活動の基盤は人と人の信頼関係です。ポスターやチラシで雰囲気づくりをしながら、職場の一人ひとりに丁寧な声かけをしましょう。

一人ひとりに声かけを

組合定着率を高めましょう。

組合員拡大の取り組みは

しっかりと尻込みしてしまふかもしませんが、豊かな信頼関係づくりと新たな自己発見を通じて、あなた自身をこれまで以上に豊かにしてくれる機会になると思

います。少しだけ勇気を出して、その勇気の範囲で頑張ってみませんか。

新採用オリエンテーションでたくさんの仲間を